

糖尿病用薬(ビグアナイド製剤,SGLT2阻害薬)の術前休薬期間

◇本一覧は、全身麻酔下で手術予定の患者を対象に、当院(院内・院外)採用薬と未採用の先発医薬品に関して、ビグアナイド製剤・SGLT2阻害薬の術前休薬期間の目安を記載しています。

◇休薬期間は「メトホルミンの適正使用に関するRecommendation」「糖尿病治療におけるSGLT2阻害薬の適正使用に関するRecommendation」(日本糖尿病学会)を参考に、院内で規定しています。

◇後発品に関しては一般名を参照の上、先発品の休薬期間に準じてください。

《休薬対象患者》全身麻酔下で手術予定の患者

●:院内採用薬 ○:院外専用薬

2023年2月

分類	採用区分	薬品名	一般名	休薬期間の目安	術後再開の目安	添付文書等の記載
ビグアナイド製剤	○	ジベトス錠50mg	ブホルミン	2日(※) (術前2日確保のための手術延期は不要)	十分な摂食や飲水が可能となつてから	【添付文書】 禁忌:手術前後の患者 【日本糖尿病学会Recommendation】 外科手術(飲食物の摂取が制限されない小手術を除く)前後の患者には禁忌。 ※ヨード造影剤に関する記載 eGFRが30~60(mL/分/1.73m ²)の患者では、ヨード造影剤投与後48時間はメトホルミンを再開しない。
	●(後発)	メトグルコ錠250mg、500mg	メトホルミン			
		グリコラン錠250mg				
		メタクト配合錠LD、HD	ピオグリタゾン・メトホルミン			
	○	エクメット配合錠LD、HD	ビルダグリプチン・メトホルミン			
	○	イニシク配合錠	アログリプチン・メトホルミン			
	○	メアナ配合錠LD、HD	アナグリプチン・メトホルミン			
SGLT2阻害薬	○	カナグル錠100mg	カナグリフロジン		十分な摂食や飲水が可能となつてから	【添付文書】記載なし 【日本糖尿病学会Recommendation】 手術が予定されている場合には、術前3日前から休薬する。術後、摂食が十分できるようになってから再開すること
	●(10mg) ○(25mg)	ジャディアンス錠10mg、25mg	エンパグリフロジン			
	○	スーグラ錠25mg、50mg	イプラグリフロジン			
	○	デベルザ錠20mg	トホグリフロジン			
	●(5mg) ○(10mg)	フォシーガ錠5mg、10mg	ダパグリフロジン			
	○(2.5mg)	ルセファイ錠2.5mg、5mg、ODフィルム2.5mg	ルセオグリフロジン			
	○	カナリア配合錠	テネリグリプチン・カナグリフロジン			
	●	スージャヌ配合錠	シタグリプチン・イプラグリフロジン			
	○	トラディアンス配合錠AP、BP	エンパグリフロジン・リナグリプチン			

※SGLT2阻害薬の休薬期間について

SGLT2阻害薬の術前休薬期間は、日本糖尿病学会Recommendationにおいて術前3日前から休薬とされているが、医薬品安全管理委員会で検討を行い、休薬指示や管理の煩雑さを回避するため、ビグアナイド製剤と休薬期間を統一し、術前2日前とした。